

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公開番号】特開2006-158244(P2006-158244A)

【公開日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2006-024

【出願番号】特願2004-351903(P2004-351903)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 0 1 K	67/027	(2006.01)
A 6 1 K	35/76	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
C 0 7 K	14/485	(2006.01)
C 0 7 K	16/22	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 6 1 K	38/22	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 0 1 K	67/027	
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	7/06	
C 0 7 K	14/485	
C 0 7 K	16/22	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 P	21/02	C
C 1 2 Q	1/02	
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
C 1 2 N	5/00	A
A 6 1 K	37/24	

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月30日(2007.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

以下の(a)～(c)から選択されるいずれか1つの蛋白質。

- (a) 配列番号2で表されるアミノ酸配列からなる蛋白質、
- (b) 配列番号2で表されるアミノ酸配列において1個又は数個のアミノ酸が欠失、置換又は付加されたアミノ酸配列からなり、かつ造血促進作用を有する蛋白質、及び
- (c) 配列番号2で表されるアミノ酸配列と少なくとも80%の相同性を有するアミノ酸配列からなり、かつ造血促進作用を有する蛋白質

【請求項 2】

以下の(a)～(c)から選択されるいずれか1つの蛋白質。

- (a) 配列番号4で表されるアミノ酸配列からなる蛋白質、
- (b) 配列番号4で表されるアミノ酸配列において1個又は数個のアミノ酸が欠失、置換又は付加されたアミノ酸配列からなり、かつ造血促進作用を有する蛋白質、及び
- (c) 配列番号4で表されるアミノ酸配列と少なくとも80%の相同性を有するアミノ酸配列からなり、かつ造血促進作用を有する蛋白質

【請求項 3】

請求項1に記載の蛋白質をコードする遺伝子を含む核酸。

【請求項 4】

請求項2に記載の蛋白質をコードする遺伝子を含む核酸。

【請求項 5】

以下の(a)～(c)から選択されるいずれか1つの核酸。

- (a) 配列番号1で表される塩基配列上の塩基番号157番～4365番の塩基配列を含む核酸、
- (b) 前記(a)に記載の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズし、かつ造血促進作用を有する蛋白質をコードする核酸、及び
- (c) 配列番号1で表される塩基配列上の塩基番号157番～4365番の塩基配列と少なくとも80%の相同性を有する塩基配列からなり、かつ造血促進作用を有する蛋白質をコードする核酸

【請求項 6】

以下の(a)～(c)から選択されるいずれか1つの核酸。

- (a) 配列番号3で表される塩基配列からなる核酸、
- (b) 前記(a)に記載の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズし、かつ造血促進作用を有する蛋白質をコードする核酸、及び
- (c) 配列番号3で表される塩基配列と少なくとも80%の相同性を有する塩基配列からなり、かつ造血促進作用を有する蛋白質をコードする核酸

【請求項 7】

請求項3～6のいずれか1項に記載の核酸を含有する組換えベクター。

【請求項 8】

請求項7に記載の組換えベクターを含む形質転換細胞。

【請求項 9】

請求項1又は2に記載の蛋白質を有効成分として含有する医薬組成物。

【請求項 10】

請求項1又は2に記載の蛋白質を有効成分として含有する造血促進剤。

【請求項 11】

再生不良性貧血、骨髄異形成症候群、悪性腫瘍の治療に利用される癌化学療法、放射線療法、又は骨髄移植によって生ずる血球減少症の予防用又は治療用である、請求項10に記載の造血促進剤。

【請求項 12】

以下の(a)～(d)から選択されるいずれか1つの抗体。

- (a) 配列番号2で表されるアミノ酸配列からなる蛋白質を特異的に認識する抗体、

(b) 配列番号 2 で表されるアミノ酸配列上のアミノ酸番号 1390 番～1403 番のアミノ酸配列：CQSTSLRKPKQETK（配列番号 20）からなるポリペプチドを特異的に認識する抗体、

(c) 配列番号 2 で表されるアミノ酸配列上のアミノ酸番号 235 番～432 番のアミノ酸配列からなるポリペプチドを特異的に認識する抗体、及び

(d) 配列番号 4 で表されるアミノ酸配列からなる蛋白質を特異的に認識する抗体

【請求項 13】

請求項 1 又は 2 に記載の蛋白質を利用したスクリーニング方法。

【請求項 14】

請求項 1 若しくは 2 に記載の蛋白質又は請求項 12 に記載の抗体を含む、スクリーニング用キット。

【請求項 15】

以下の(a)～(e)のいずれか 1 つのDNAからなるプロモーター。

(a) 配列番号 34 で表される塩基配列からなるDNA

(b) 配列番号 34 で表される塩基配列において、第 2796 番目～第 3487 番目の塩基配列を含むDNA

(c) 前記(b)に記載のDNAとストリンジエントな条件下でハイブリダイズするDNA

(d) 前記(b)に記載のDNAと少なくとも 70 % の配列相同性を有する塩基配列からなるDNA

(e) 前記(b)に記載のDNAにおいて 1 個又は数個の塩基が欠失、置換若しくは付加された塩基配列からなるDNA

【請求項 16】

前記(b)に記載のDNAが配列番号 34 中の第 3299 番目～第 3487 番目の塩基配列を含むものである、請求項 15 記載のプロモーター。

【請求項 17】

前記(b)に記載のDNAが配列番号 34 中の第 3374 番目～第 3487 番目の塩基配列を含むものである、請求項 15 記載のプロモーター。

【請求項 18】

請求項 15～17 のいずれか 1 項に記載のプロモーターを含む組換えベクター。

【請求項 19】

請求項 18 に記載の組換えベクターで形質転換された細胞。

【請求項 20】

請求項 19 に記載の細胞を含む、SELFプロモーター活性を促進又は抑制する物質のスクリーニング用キット。

【請求項 21】

請求項 19 に記載の細胞を利用した、SELFプロモーター活性を促進又は抑制する物質のスクリーニング方法。